



ウツ

1

月号

No.142



賀春

人口と世帯

	前月比
世帯数	1,443 (-5)
人口	5,788 (-8)
男	2,907 (-3)
女	2,881 (-5)

昭和57年11月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

おもしろ内容

- 2~7...年頭のあいさつ
- 8...除雪作業にみなさんのご協力を
- 9...利尻町国保病院に内科医着任
- 10...愛の声かけ運動
- 11...あなたと保健室
- 12...冬道の交通事故防止
- 13...海の男に知事より感謝状
- 14...国民年金だより
- 15...印鑑登録証明について
- 16~17...水産だより
- 18...戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録 1月1日現在472日

謹 賀 新 年

昭和五十八年〃地場産業の振興と町民参加〃のまちづくり

年頭にあたって

利尻町長 小島 光 男



輝かしい昭和五十八年の新春を迎え、先づ町民の皆さんが益々ご健康でありますことをお慶び申し上げます。

昨年は、国の内外いろいろと問題も多い年でありましたし、国内の経済も低迷を続け、利尻町にとっても海よりの生産が激減した近年にない淋しい不景気な年でありました。

本年は、それらを挽回し、将来への希望もてる年にしたいものと念願しております。

何時も申上げているように、確実に生産があがる『漁場づくり』や、根付の『晶づくり』には、手を緩めないで本年も、もつと力を入れなければならぬと考えます。

健康であるということは、しあわせの根本であります。そのための保健予防、医療体制の充実強化をはかりたい。それに町民の体力づくりのスポーツをさかんにした。それ等の施設についても本年は計画をもっています。

高齢人口の増加にとまかない、そ

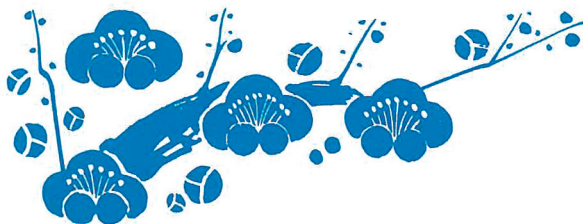
うした方々の社会福祉と、就労対策も重要であり、そのための努力も続けてゆく考えであります。国は、行政改革と、財政再建を大きな目標としてかかっています。

財源の大半を国に依存している本町の場合、本年は大変苦しい年になります。しかし、困難はあるにしても、町民の生活上緊急を要するもの、増産に大きく結びつくもの等は議会とも相談し、皆さんの強力なバックアップのもとにその実現に向って最善を尽さなければならぬものと考えます。

いづれにしても、このような時勢なだけに、どの町村もそれぞれ問題をかかえながら歩ゆんでいます。要は、その町に住んでいる方々の、これに立向う自覚と姿勢にあるのです。

利尻町の皆さんが、更に連帯意識をふかめ、助け合い、はげましかけてこれに当るならば、途は開かれてくるものと思えます。又、そのことがよりよい町づくりにもなり、町民一人ひとりのしあわせにもつながること信じます。

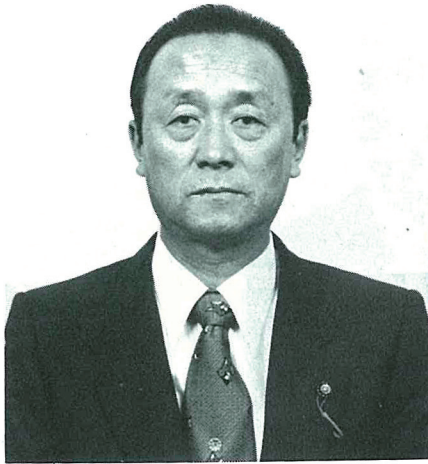
どうか、皆さんご家族揃って元気で、常に明るく希望をもって、本年も充実した毎日をおくるよう共に頑張りましょう。



謹 賀 新 年

年頭のことば

利尻町議会議長 原 崎 竹 治



輝かしい昭和五十八年の新春を迎えるに当たり、利尻町議会議長として町民の皆様へ、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。浅学非才な私が、昨年十月、町議会においては、議長としての重責を負うこととなり、いまだながら、その使命の重大さを痛感いたしております。

その後、私は、議会の円滑な運営と、町民の皆様の声が町政に反映されるような状況づくりのためにひいては町政の伸展のため努力を続けてまいりました。

昨年は、国の内外に於ても、打ち続く経済不況と、貿易まざつ等の影響をうけ、特に、利尻町にあっては海よりの生産が低迷を続け、町民生活は極度の圧迫を受け、地方財政の危機的様相が更に深刻化の一途をたどるなかで暮れました。

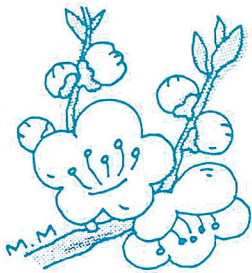
一方、町民の皆様の町政に対する要望は、ますます高まっております。このような状況の中で迎えた昭和五十八年は、利尻町にとって極めて重要な年になると思われ

ます。即ち、水産業基盤の確立と町民経済の高揚をきたし社会福祉施設等の整備に関連する重要な諸問題に対応するには、あまりにも厳しい財政状況が存在するなかで、町

民を代表する議会人といたしましても、国、道に対しその対策を強く働きかけますとともに、執行機関と相協調して、財政の許す限り最大限の行政効果をあげるため、一丸となつて努力すべき年であると考へております。

町議会は、町民の代表として、議決機関の機能を最大限に發揮しつつ、町民皆様の御期待にそうよう努めてまいります。

どうか、本年もより一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。昭和五十八年が町民の皆様にとりまして幸せな年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



謹 賀 新 年

「北方の風土に根ざした、たくましく潤いある地域社会を」

年頭にあたって

北海道知事 堂垣内 尚 弘



わけ意義深く、感慨ひとしおのものがあります。

顧みますと、この十二年間は、激動の時代でしたが、私は「道民のための明るい道政」を基本とし「北方の風土に根ざしたたくましくさとするおいのある北海道づくり」のために全力を傾注して参りました。

この間、幾多の困難に直面しましたが、さいわい道政を着実に前進させることができましたのも、ひとえに、道民みなさんの御理解とお力添えのたまものであり、深く感謝申し上げる次第であります。今日、国際的には、資源の制約や経済の不振と通商摩擦の顕在化などがあり、国内においては、景気の浮揚と国家財政の再建が緊要な課題となっております。

このような中で、本道は景気の低迷や雇用問題、稲作の大幅な減反や漁業の国際的な規制強化、国鉄地方交通線の改廃や道開発庁の統廃合問題などが相次いで発生し、厳しい情勢下におかれております。

しかし、本道は、数々の困難を克服しながら、着実に経済の基盤を固めつつあり、空港、港湾、幹

線道路の整備がすすむなか、昨年 は、築設中だった石狩湾新港に第一船が入港、苫小牧東部工業基地に有力企業が進出、また、北方圏 諸地域との交流も一層活発化し、さらには、六十四年完全国体の準備作業も順調に行われるなど将来 に向けて大きく前進しております。

一方、国民の悲願である北方 領土返還についても世論の大きな 高まりをみましたことは、心強い 限りであります。

本年も全国的に流動的かつ厳しい 情勢が続くものと思われませんが 技術革新の急速な進展と国際間の 相互依存関係が強まるなかで、わ が国としては堅実な経済成長を維 持しながら、世界経済の安定にも 積極的に貢献すべき年となること を私は期待しております。

北海道は豊かな土地、水などの 資源に恵まれ、わが国社会経済の 安定的な発展に大きく貢献し得る 地域であります。既に長期的発展 の基礎的条件も逐次整いつつあり、 この一月には、道民の永年の夢で ある青函トンネルの先進導坑が貫 通し、本州と陸続きとなります。 このような条件整備を背景に、本

さて、私は残る任期中、私に課 せられた責務を全うするため全力 を傾けてまいります。申すまでもなく、道政は悠々であり、道民 とともに歩み、前進をつづけてい くべきものであります。道民のみ なさんにおかれましては、今こそ 本道発展の基礎を築いた先人の労 苦に改めて思いを致し、そのなか ら培われてきた「進取」「不撓不屈」 の開拓者精神と自主自立の気概を もって、明るく豊かな郷土、北海 道の建設に向って、お互い手をた ずさえ力強くまい進されることを 期待いたします。

年頭に当たり、私の所感の一端 を申し述べるとともに、道民のみ なさんのますますのご健勝とご多 幸をお祈りして年頭のごあいさつ といいたします。

明けましておめでとございます。

昭和五十八年の新春を道民のみ なさんとともに迎えることができ ましたことを、たいへんうれしく 存じます。

早いもので、私が道民のみなさ んのご支援を得て道政をお預かり してから三期十二年になります。 で、この新年は私にとって、とり

年頭にあたって

宗谷支庁長 新谷 富雄



明けましておめでとうございます。

昭和五十八年の新春を皆様とともに迎えることが出来ましたことは、私の大きな喜びであります。顧りみますと昨年は、世界的な不況の中で道も景気対策を柱に積極的な予算を計上しましたが、景気は低迷から脱しきれず、基幹産業であります漁業について、沿岸・底引き網漁業とも漁獲が不振でありましたし、国鉄地方交通線の改廃問題などもあって、管内をめぐる諸情勢は一段と厳しく重要課題が山積しております。

でもあった各種の社会生活基盤にかかわる施設の整備がすめられ、また、老令化社会の進むなかで、福祉問題が重要視されておりますが、始めての試みでありました、「ふれあい広場」には沢山の方がたが参加され、ノーマライゼーションの普及に役立つことが出来ました。

また、産業面では、酪農において、国内の乳製品の需給バランスが回復し、牛乳の生産抑制も緩和されたこともあって、例年にない順調な生産が続けており、明るい兆しが感じられる昨今であります。観光客も、好天に恵まれ、入込客の状況が漸く上向きとなったことなどは嬉しい話題でありました。いずれにしても、私は、この年内、宗谷は北海道の中でも、今後において最も大きな発展の可能性を有している地域と思っております。

これまで地域をめぐる、自然、立地条件、他の地域にない特別の環境、例えば日本列島の最北部に位置するなど地域の発展にとってマイナスの要素と考えがちでありましたが、これを逆に利用する、このような視点に立つとき、前途に大きな希望を持つことが出来るのではないのでしょうか。

「次代は北から」ということを念頭に今後とも、果敢に道政の推進に努めて参りたいと思っております。

まず、宗谷における農業の振興であります。管内は恵まれた土地資源が賦存しており、将来ともに大家畜の生産基地として大きく発展する地域として期待されており、地域の特性をふまえた生産技術の開発、普及、生産基盤の整備等、各般の施策を総合的に推進するとともに、五十六年から実施している「酪農経営負債整理対策」と併せて関係機関が丸となった濃密指導の実施により経営体質の強化を図って参ります。また、天北地域の開発は北海道発展計画に即し、大規模家畜生産基地として、本年から肉牛牧場の建設を進めて参ります。

次に水産業の振興についてであります。従来のような漁獲努力による漁業生産の拡大や、経営の安定を図ることは極めて困難な状況下であり、漁場の有効利用を基本とした資源培養管理型漁業への漁場整備を進めるなど体質改善が急務であると考えます。また、漁船漁業の再編整備についても資源の保護と漁場の有効利用を基本に進め、水産加工については、更に高次加工へと体質改善が急がれるので、この研究開発を進めるとともに、経営安定のための施策も図って参ります。

次に、健康と福祉についてであります。健康と福祉の充実をはじめ、老人や母子、心身障害者、低所得者の方がたを対象とする地域に密着した住民参加による福祉の充実強化に最善の努力を続けて参ります。また、本年二月から老人保健法が施行されますが、法の趣旨徹底と円滑な推進を図って参ります。

次に、地域経済の発展についてであります。全国的に低滞している経済界の中にあり、商工業の経営の安定と発展のための施策の実施と地域産業の育成振興と雇用機

会の確保増大を図りながら、経営基盤の整備を推して参ります。

また、交通安全の問題は、車社会のすすむ中で一刻もゆるがせに出来ない重要な課題であります。

住民の皆様一人一人が自らの責任を自覚し認識することを基本に、関係機関の協力を得ながら強力に取り組んで参ります。

最後に私は、現在の困難を克服し将来展望をきり拓いていくためには管内の連帯性が特に必要であると強く感じております。

一市町村や関係団体が互に協調し、力を一つに合せて、荒波のなかへ船出する覚悟と努力が最も大切なことと考えております。

管内の限らない発展のため、皆様の一層のご理解とご協力をお願いし、年頭のあいさつといたします。



謹 賀 新 年

“住民ぐるみで無火災を”

年頭のごあいさつ

利尻礼文消防事務組合

消防長 不破 保



利尻町の皆さん明けましておめでとございます。昭和五十八年の新春を迎えるにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

今年こそは、赤い消防車がサイレンの鳴らさない年にしようと思われ、年の始めに消防職団員は誓い合つと共に、町民の皆さんにもご協力を呼びかけて居りますが、なかなか、思うように参りません。昨年もとうとう五件の住宅火災

で四棟の全焼、二棟の部分焼で其の上、あつてはならない、幼い尊い一名の命まで奪われた事は返す返すも残念でなりません。

最近私共の生活を取巻く環境は向上の一途をたどり何事も便利で楽な生活ができるようになりまして、ところがその裏には災害という悪魔がひそんでいることを忘れてはなりません。

炊事、洗たく、暖房は勿論、お風呂や、アイロン掛け等、其の他数えるときりが無い程総てがスイッチ一つで作動でき、それが生活の大きな役割を果して居ります。

ところで、これらの原動力となるものは、私から申上げるまでもなく油類でありガスや電気です。従つて、皆さんの周囲は危険物でとり囲まれて居る為少しの油断もできません。前述の火災の中でもちよつとした油断から、大きな損害を出した例もあるのです。

こうした例を無くするため、私共消防機関は、毎年、春秋の二回全道一斉の火災予防運動週間をもつて、全町民に「火の用心」の大事なことを、いろいろな方法で呼びかけて居ります。

このためには、消防職団員だけでなく婦人防火クラブ、少年消防クラブ、幼年消防クラブ等の各クラブ員のご協力を得て、全町民で防火に務めて居るところです。昨年は、我国でも大きな災害がありました。東京では、ホテルニュージャパンの火災、羽田沖日航機の墜落事故、また長崎県を襲つた大水害等、其の他数多くの大きな災害が発生して、何れも、多くの尊い人命が失われて居ります。

このように、わが北海道でも昨年三月二十一日に浦河沖地震発生時は、地震地帯といわれるこの地方でも、かつて経験したことのない強烈なものでしたが、住民一人ひとりに日頃の訓練や心構えが行届いていたため、死者及び火災の発生もなく、さらに被害も最少限度に止どめたことは、地震史上稀なことだといわれております。このようなことを見たり聞いたりする時皆さんも万一火災の場合、どうして安全な避難をするかなど家族ぐるみで、いつも話合つておいていただきたいものです。

さて私共利礼三町の消防も一部事務組合として常備化されて今年

は十年目という誠に意義深い年を迎えました。この間歴代の理事者や議会の皆さんを始め、全町民の皆さん方の消防に対する深いご理解と、ご協力で消防力の充実強化は見違えるものがございます。一つの例を取りましても十年前の町内には消防用車両がわずか四台よりなかったのが今日では二百台と然も最新の性能をもつたものばかりの勢ぞろい、其の他救急用自動車と、住民の生命、財産をあらゆる災害から守るため、昼夜の別なく万全の態勢でのごんて居ります。

其の他、消火栓や防火水槽などの水利の確保更には迅速なる伝達を必要とされる消防無線機種の確保と近代消防としての発展を遂げて居り、この上は常備、非常備を問わず、お互いに連携を密にして一致協力、住民の信頼に應える消防として新しい年を迎え一層の努力を続け邁進する所存でございますので今年も全町民あげて消防の重要性を更にご認識下さいまして、御支援ご協力の程を心からお願ひ申し上げます。

終りにのぞみ利尻町各位、並びに消防職団員の本年のご多幸と益々のご繁栄を心からお祈りしてごあいさつと致します。



謹んで新春を
お祝い申し上げます



昭和五十八年 元旦

議
會
事
務
局
長

笹
原
喜
一

”

岩
島
秀
夫

”

西
島
松
雄

”

浜
岸
正

”

宮
森
慎
一
郎

”

吉
田
欽
哉

”

越
智
力

”

加
藤
孝
三
郎

”

高
島
光
夫

”

岡
山
勇

”

町
村
幸
司

”

谷
口
稔

”

惣
万
惣
市

”

関
野
直
太
郎

”

牧
野
吉
太
郎

”

中
山
二
郎

”

駒
井
十
一
郎

”

大
腰
金
治
郎

”

原
崎
竹
治

議 副 議
員 長 長

議 員 長 長
大 原
腰 崎
金 竹
治 郎 治

利
尻
町
議
會

白
幡
昭
三

教
育
長

津
田
博

収
入
役

保
野
力
雄

助
役

小
島
光
男

町
長

婦
長
岩
島
好
子

事
務
長
五
十
嵐
国
夫

院
長
北
守
茂

国民健康保険病院

教
育
委
員
會
次
長
富
樫
昇

碎
石
事
業
所
所
長
柿
元
秀
夫

国民宿舎支配人(兼任)
板
谷
静
夫

仙
法
志
支
所
所
長
柴
田
喜
義

建
設
課
長
小
坂
俊
市

農
林
商
工
課
長
板
谷
静
夫

水
産
課
長
田
嶋
順
逸

民
生
課
長
佐
藤
利
彦

住
民
課
長
大
島
正
治

總
務
課
長
糸
谷
克
明



今年も本格的な降雪に入りましたが、このたび、町及び土現利尻出張所では自治会長さんや諸団体の関係者に参加をねがい、本年度の除雪打合せ会議を開きました。除雪作業については、町及び土現とも昨年と同様に進められますが、夜間の除雪作業は原則として行いません。(特に緊急な事態が生じた場合には出動することになっております。)

除雪作業に みなさんのご協力を

—路上駐車は絶対やめましょう—

▲町では除雪に万全を期しますが除雪がスムーズに行えるよう、町民の皆様のご協力をお願いします。

▲大雪や吹雪のあとの除雪は、産業道路や港の確保を速やかに行うため、市街地等が多少遅くなる場合がありますのでご協力願います。

◆路上駐車や障害物は除雪車を泣かせます

道路敷地内に丸太やドラム缶などが置かれていることがあります。路上駐車はもちろんのこと除排雪に支障のありそうな物は事前に取り除いておきましょう。路上駐車や障害物のある路線はそれだけ除雪が遅れるばかりでなく、場合によってはその路線の全部が除雪できなくなりますのでご注意ください。

◆作業中の除雪車には

近寄らないでください
作業中の除雪車に近寄ることは非常に危険です。特にお子様をお持ちのご家庭では十分に注意して下さい。

◆除雪で出入口をふさぐこともありますが、この雪を再び車道に投げないようにしてください。

◆道路わきで子どものスキー、ソリ遊びは絶対させないでください。

◆道路面に屋根の雪が落ちるような家屋等については「雪下し」又は「雪止め」等の処置を講じ歩行者に事故のないよう留意して下さい。

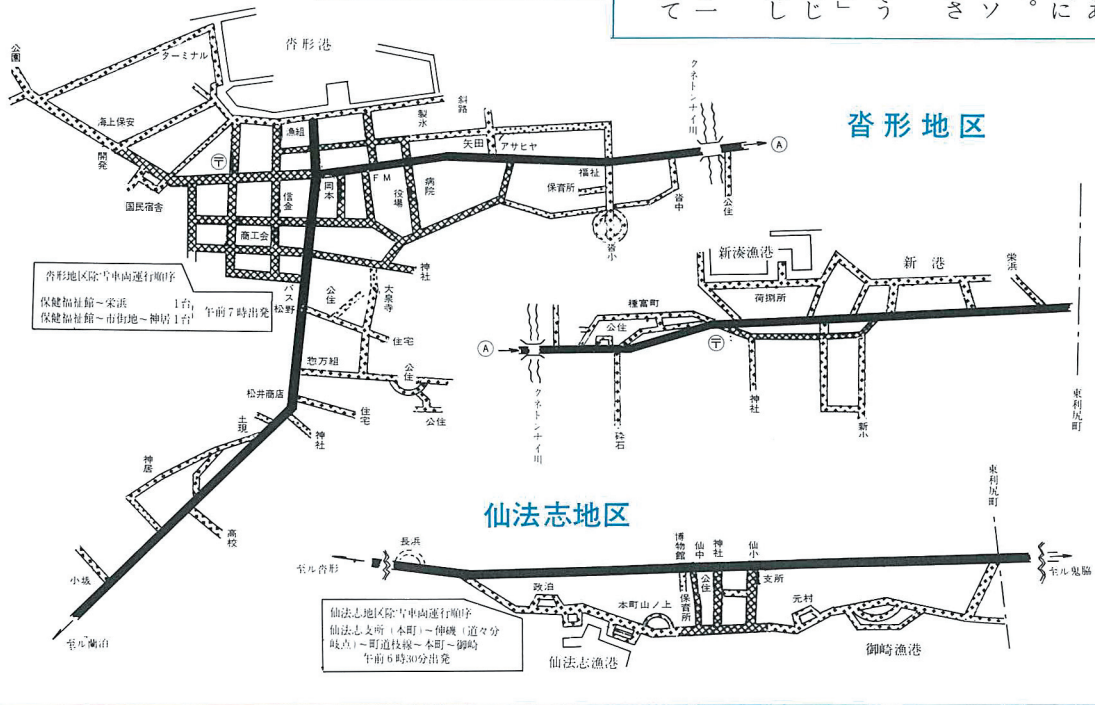
◆消火栓・貯水槽の付近には万一の火災に備え、絶対に雪を捨てないようにして下さい。

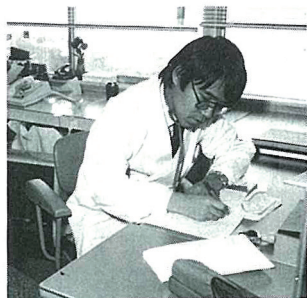
昭和57年度利尻町除雪計画図

除雪作業に対しての御意見等は稚内土木現業所利尻出張所、役場建設課又は仙法志支所へお知らせ下さい。

凡 例

区分	内 容
——	道 々
——	除雪町道
——	〃 (排雪含む)
——	そ の 他





どうぞ よろしく

利尻町国保病院に

佐藤信司先生(内科医)着任

利尻町国保病院に十二月一日付で佐藤信司医師が着任しました。プロフィールにありますように、

先生は岩内町出身で、札幌東高から自治医大に学び昭和五十五年卒業、その後、旭川医大にて研修、稚内市立病院で勤務のあと、利尻

地域医療の発展に！

現在の医学、医療の進歩は著しく、その貢献度も高くなってきておりますが、医師と患者の間は医学、医療の向上だけでは解決困難な問題が山積しています。

例えば、私が旭川や稚内の病院において外来診療をして感じます事は地元の医師の紹介状を持たずに受診される方が実に多いという事です。この場合、一時的に病氣

町にこられました。先生は、十二月一日より内科医として診療しております。

先生に着任にあたっての抱負を聞きましたのでご紹介します。



が治ったとしても、もし自宅で病気が再発、急変した場合、おそらく、地元の病院へ行く事になりませんが地元の病院との関連がないため、それまでの状態、治療法など不明でその急変に対し適切な処置が遅れる可能性があります。そこで地元と専門病院の関連が必要となるわけです。皆さんの病氣も地域医療から専門医療へ必要に応じた対処の方法——プライマリ・ケアの徹底で病気の治癒への配慮もスムーズに行なわれるわけです。ですから、プライマリ・ケアの必然性、重要性を多くの医師が揭示するように私も日常の診療で痛感

すると共にこれが地域医療への第一歩と考えるわけです。皆さんにとっても身近かの問題として存在している事でもあるわけで皆さんの健康管理が円滑に行なわれるために地域の医療機関と主要医療機関の連携をもっと把握することで各機関のそれぞれの必要範囲の重要な役割を十分に利用することがこれからの指針といえましょう。ですから、まず安心して、そして気軽に国保病院のドアをノックしていただきたいと思います。一貫性のある医療システムに私共と一緒に歩まれる事を望み、私共もたよれる医療機関にするために日々精進したいと思えます。

プロフィール

現在29歳、岩内町で生まれ、札幌にて育つ。札幌東高から自治医大入学。昭和55年卒業。旭川医大にて、第3内科を中心に小児科・産科・麻酔科を研修。昭和57年6月から稚内市立病院に勤務。昭和57年12月1日利尻町国保病院へ着任。妻幸子及び長男亮の3人家族。趣味、野球・音楽・読書・将棋少々。

1983・1月行事 (社会教育だより)

行事名	期日	時間	会場	対象	備考
新春書初会	1月7日	午前10時～	町民運動場	小・中学生 一般	当日直接会場へお越し下さい。
		午前10時～	町民センター		
冬休み 子供映画会	1月10日	午前9時30分～	公民館	幼・小・中学生	
		午後1時～	町民センター		
少年 カルタ大会	1月11日	午前9時～	公民館	小・中学生	小学生4人、1チーム 中学生3人、1チーム を編成すること
	1月12日	午前9時～	町民センター		
利尻町成人式	1月15日	午後1時～	研修センター		
職域 カルタ大会	1月16日	午後1時～	国民宿舎	一般 職域対抗	申込み〆切1月13日まで 参加料 未定
初心者スキー 教室 開講式	1月22日	午後1時30分～	天望山スキー場	一般 家庭婦人	
スケート教室	1月29日	午後1時～	仙法志スケート場	小・中学生	
		午後6時30分～		一般	

※ ふるって参加下さい。詳細についてのお問い合わせは……利尻町教育委員会 ☎ 4-2445
利尻町公民館 ☎ 5-1049

愛の声かけ運動(七)

青少年に「愛の声かけ」を
「声かけ運動を広めよう」

○よいことをしている青少年には
感謝・励ましのことばを……

○よくないことをしている青少年
には、注意のことばを……

○家庭でも、学校でも、職場でも
地域でも、おとなと青少年との
間に暖かい気持の交流に……

昨年にひきつづき、本年も、「広
報りしり」を通じて、愛の声かけ
運動の輪を広めてまいりたいと思
います。

子どもは地域の宝です。
良い子を育てることは、大人達の
責任です。

このごろ、非行に走る少年の年
齢が、低くなりはじめています。
地域の大人達が、よその子にも我
が子と同じように、時には優しく
時には厳しく声をかけることで、
悪の芽ばえを防ぎましょう。

明るい街づくりのために、大人
から子どもへ一言の愛の声かけを
……

声 か け て 明 る い 街 づ く り

こんな時に…	こんな声かけて…
1 自分より小さな子の面倒をみているとき	1 ごくろうさん(えらいなあ)やっぱりお兄さん(お姉さん)だね。
2 お年寄りを親切にいたわっているとき	2 どうもありがとう。おじいさん(おばあさん)に代ってお礼を言うよ。
3 お早ようございますと声をかけてくれたとき	3 おはよう。元気がいいね(いつもははりきっているね)
4 大人の用を足してくれたとき	4 どうもありがとう。おかげで助かったよ。
5 進んで、地域社会のために役立つことをしているとき	5 ごくろうさん。とてもよいことをしているね。(皆さんもきっと喜ぶよ)
6 おじいさん(おばあさん)と貴方に呼びかけたとき	6 はい!(明るく)どうしたの(何か用かな)?
7 大きな子が小さな子をいじめている	7 かわいそうだなあ、どうしたの? わけを話してごらん。
8 どこかちぐはぐな大人びた服装をしている	8 いい服だね。でも、きみにはまだ早いかな!
9 空き家に入出入している	9 よその家は、人が今いなくても入ってほだめだよ。
10 公共の器物にいたずらしている	10 みんなが使うものだよ。自分のものと同じに大事にしようね。
11 ガムやチョコレートの包み紙を路上などに捨てる	11 きれいな方が気持ちいいね。ちゃんどくず箱にすてよう。

寝ていて子どもを
起こさない

子どもの心は真白(まっしろ)です。周りの色によって、美しくもみ

にくくも、染まります。

親を真似、兄や姉に感化され、そして隣近所の大人達の言動に触れながら、彼等なりの「手さぐり」で社会生活との関わり合いを歩みます。明るく、豊かで、なごやかな地域社会の実現をのぞむなら、大人が「寝て」いて子どもに「起きろ」と言っても、期待すること自体が無理というものです。

まず、大人が手本を示すべきなのです。

子どもに恥じない言動の裏づけがなくては、愛の声かけも子どもの心の扉を開くことはできません。大人のアナタが、まずお手本を示すこと……それが扉を開く鍵を握っています。

- 規則や法律より前に道徳を守っているか
- 空缶や屑のポイ捨てをしていないか
- 子どもから挨拶されて、こちらも挨拶を返しているか
- 用を足してくれた子どもに感謝の言葉をかけているか
- 子どもとの約束ごとを破っていないか
- 子どもにもウソを言っていないか

あなたと保健室

あけまして
おめでとついでいます

新しい年を向えて皆様は、どの
ような事をお考えでしょう。

“今年はいい年だといいいね”

“漁が沢山だといいいね”

“元気に過ごせたらいいね”

等、お雑煮を食べながら話し合っ
たのではないのでしょうか。

その中で、自分達で出来そうな
ことは何でしょう。

“一生懸命働くこと”

“頑張つて勉強すること”

その他にも沢山あることではし
ょうが、健康に注意するという事が何
よりも大事ではないでしょうか。

昨年癌、心疾患、脳血管疾患
で亡くなった方が多く、それ以上
に病気になるていく方が沢山いま
した。健康が大事なのは分かるが、
実際にどうしたらよいかという事
のお手伝いとして、このページが
あります。今年も健康に関する新
しい情報をのせたいと思っていま
すので昨年以上に御利用下さい。
さて、今回はクイズに挑戦して
みて下さい。全部食品に関するも
ので、答は後の文に書きました。



脂肪は——— 血圧を上げる

塩分編

それぞれ塩分の多い順に並べる

- 一 A 塩サケ 一切れ
 - B もみじ子 1/2腹
 - C プレスハム 簿切り3枚
 - 二 A 甘みそ 大サジ1
 - B しょうゆ 大サジ1
 - C マヨネーズ 大サジ1
 - 三 A 食パン 一枚
 - B ゆでうどん 一玉
 - C 梅干し 一コ
- || カロリー編 ||
- カロリーの高い順に並べる。
- 一 A 牛乳 一本
 - B 油揚げ 一枚
 - C 納豆 一包
 - 二 A めし 茶ワン1
 - B もち 3切
 - C じゃがいも 中3コ

- 三 A 日本酒 一合
- B ウイスキー シングル1
- C ビール 大びん1

|| コレストロール編 ||

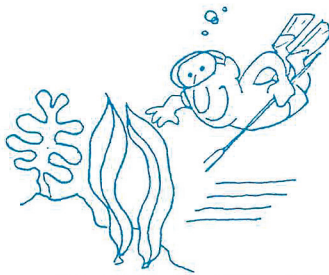
次の中でコレストロールの一番
高いものとは一番低いものを上げ
下さい。食品は全部100gとして考
えて下さい。

- 食パン 牛乳 納豆 バター
- 全卵(鶏) チョコレート
- 豚肉 鶏もつ ベーコン チーズ

|| タンパク質編 ||

次の食品100gの中で一番タンパ
ク質の多いものと少ないものを上
げて下さい。

- 鶏もも肉 豚バラ肉 豚ロース
- 卵(鶏) 牛乳 納豆 たら
- プロセスチーズ 豚もも肉



海藻類は高血圧や動脈硬化によい

さあ、どの位あたっていでるでし
ょうか。
塩分編全部を塩分の少ない順に
並べると、マヨネーズ ゆでうど

ん 食パン 甘みそ プレスハム
梅干し しょうゆ もみじ子 塩
サケ のようになります。

カロリー編全部が高い順に並べ
ると、ビール もち めし じゃ
がいも 納豆 日本酒 牛乳 油
揚げ ウイスキー となります。

コレストロール編が高いものか
ら並べると、鶏もつ 鶏卵 バタ
ー チーズ チョコレート ベー
コン 豚肉 牛乳 食パン 納豆
となり、この中でコレストロール
0の食品は納豆しかありません。

タンパク質編を多いものから並
べると、プロセスチーズ 豚もも
肉 豚ロース 鶏もも肉 納豆
たら 豚バラ肉 鶏卵 牛乳とな
ります。おもしろいことにチーズ
4枚の蛋白質を牛乳でとると200cc
のパック3.5箱分飲まなくてはなり
ません。

いかがでしたか。お正月は、お
雑煮、お酒の食べすぎ、飲みすぎ
に加えておせち料理の食べすぎと
なり、塩分、カロリーの取りすぎ
野菜不足となります。十分食事に
は注意して下さい。

保健婦 平野・記



初もうで

冬道の交通事故防止

スピード落とそう

車間距離を十分にとろう
雪山、陰からの飛び出しや
路上での遊びをやめよう



凹凸があり、スリップを誘発し
危険ですから追い越しはやめま
しょう。

◎雪山の陰からの歩行者の飛び出
しを予測して運転しましょう。

◎冬道は、路面がすべるので車間
距離は夏の二倍以上とって追突
しないようにしましょう。

◎ロックブレーキ（車輪の回転を
止める制動方法）は、スリップ
して停止距離が長くなり危険で
す。ポンピングブレーキ（断続
的に車輪の回転を止める制動方
法）やノンロックブレーキ（車
輪の回転を止めない制動方法）
を活用しましょう。

◎雪路での急ハンドル、急加速は
尻ふりやスピン（旋回）の原因
となります。ゆとりあるハンド
ル操作アクセル操作をしまし
ょう。

◎スパイクタイヤ等のアンブラン
スは、スリップの原因となりま
す。同種、同質のタイヤを装着
しましょう。

◎積雪、凍結路では、思わぬ事故
が起こりやすいので、シートベ
ルトを着用して不測の事態に備
えましょう。

◎速度が速いほど停止距離が長く
なり危険です。特に冬道では、
スリップすることを考えてスピ
ードダウン運転をしましょう。

◎冬道は、路面がすべるうえに、

◎冬道は、路面がすべるうえに、

歩行者の方へ

◎除雪された雪山の陰は、運転者
から見えない部分です。左右の
見とおしのよい場所を選んで横
断しましょう。

◎冬道は、車がスリップします。
信号が青でも左右の安全を確か
めて横断しましょう。

◎道路側の雪山で、子供がスキ
ヤソリ遊びしているのを見かけ
たら注意してやめさせましょう。

◎吹雪の時や夕暮れに外出する
きは、車から発見しやすい明
い服装にしましょう。

駐在所だより

新年あけまして
おめでとございます

◎交通ルールは必ず守って！
冬の交通安全運動中、指導員の
協力のもと、街頭指導等を行いま
したが

◎運転免許証の不携帯
◎歩行者の信号無視（大人）
が目だちましたが、ちよつとした
不注意から事故は起きるものです。
又、子どもは大人のまねをします。
交通ルールは必ず守って下さい。

◎少年の非行防止
開放感には要注意 お父さん、お
母さん十分観護を！



◎路上駐車は絶対しないように！
事故のもとです。必ず車庫へ。

◎自動車から離れるときは、エン
ジンを抜き、ドアロックを！

◎少年の非行防止
開放感には要注意 お父さん、お
母さん十分観護を！

冬休みの事故防止について

冬休みは、子どもが学校の日課
から離れて家庭、地域社会におい
て自主的な生活を体験する大切な
機会です。

しかし、この期間は、周囲のあ
わただしさや解放感から思わぬ問
題や事故を起こしがちです。

家庭では、特に次のことに留意
して、子どもにとって健全で有意
義な冬休みとなるよう指導、援助
することが大切です。

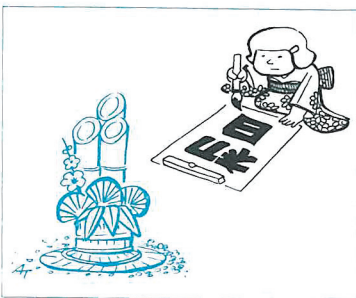
①日常生活では、家族の一員とし
ての役割を
家事の分担や協力をとおして家
族相互の心の交流を深めるなど、

家庭生活の楽しさを味わわせるよ
うにしましょう。
②家庭学習では
子どもが興味、関心をもつ事柄
を大切に、自分で計画を立てさ
せ、できることから取り組ませる
など工夫して、子どもが、学習へ
の意欲や自信を高めていけるよう
に援助しましょう。

③子どもの外出
その外出の行動予定を父母があ
らかじめ承知しておくとともに、
連絡や報告を習慣づけるよう指導
しましょう。

④冬休みの生活について

学校の指導方針や指導内容を十分
理解し、学校との連携を密にし
て、事故防止に努めましょう。



海の男に

知事より感謝状

海難救助につくす

- 永年勤続救難所員（20年以上）
田澤政雄さん（沓形字種富町）
永井昭三さん（沓形字蘭泊）
仲条 茂さん（沓形字神居）
米田政太郎さん（沓形字日出町）
安達光雄さん（沓形字日出町）
田澤邦夫さん（沓形字種富町）
梅岡力太郎さん（沓形字種富町）
小倉啓三さん（沓形字種富町）
稲澤 裕さん（沓形字緑町）
- 海難救助功労者
小杉勝美さん（沓形字本町）



去る十二月十三日、沓形漁業協同組合において、永い間、海難事故の際に、人命や船舶の救助に尽くしてきた人に、知事より感謝状が送られ、その伝達式が挙行されました。

永年勤続救難所員として表彰された田沢政雄さん外8名の方々は、20年の永きにわたり、海難救助に尽した功績が認められたものです。又、海難救助功労者として表彰された小杉勝美さんは、昭和56年12月5日、こんぶ養殖用施設の手入作業中操船誤りのため、航行不能となった事故船の救助に対して、荒天の中、危険もかえりみず、無事救助した功績が認められたものです。



水道凍結に「注意」を

厳しい寒波から水道を守り凍結を防ぐためには、日ごろから充分注意し、忘れずに確実な操作をすることが大切です。

お寝前や家を留守にするときは、必ずじゃ口を全開にして、水道管の中に水が残らないよう確実な「水おとし」を心がけてください。

凍結したとき

もし凍結したならば、タオルか布きれを巻いてからお湯をかけてみてください。お湯をかけ、少しでも水が出るようでしたら、水おとしを念入りにすることで防げるものが数多くあります。

凍結の度合によっては長時間ご不便をかけることもありますので凍結には充分注意するようご協力願います。

又、寒気のニュースなどに十分気をつけ事前に凍結の防止を講じましょう。

水の上手な使い方

○蛇口はこまめに閉めましょう。
ポタポタ漏れても一日で約六〇ℓになります。

○ふろ水は、洗たく、掃除などに利用しましょう。

○洗たくは、洗剤洗いの後に脱水しましょう。脱水してからすすぐと約一五％の節水ができます。

万一凍結した場合は、水道係仙法志支所へ連絡してください。

お茶の間で今日も話題の交通安全

車を運転するお父さん、お兄さん、事故に遭いやすいお年寄りや子供さん、みんなで新聞やテレビのニュースをともに「交通安全」を話題にしましょう。



おめでと〜20歳 社会人としてのスタート

民法第三条は「満二十歳ヲ以テ成年トス」と定めており、法律上、独立の社会人としての地位が与えられます。

二十歳になったみなさん、今年、一人前の大人として、また、一人の社会人として、新しい「門出」の年です。

一月十五日は「成人の日」

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます―国民の祝日である「成人の日」

二十歳と選挙権

二十歳になれば選挙権が与えられます。わたしたちは、選挙権を行使することによって、国の政治をはじめ都道府県や市町村の地方の政治にも参加することになります。

しかし、実際に投票できるようになるには、「選挙人名簿」に登録されていなければなりません。

市区町村の選挙管理委員会は、その市区町村に住所があり、かつ三か月以上住民基本台帳に登録されている者の中から満二十歳以上になった者を毎年九月（選挙があ

日）には、新しい時代を担う若いみなさん方への熱い期待がこめられています。

そうした社会の期待にどうこたえていくか、これからの課題といえるでしょう。



ればその選挙の直前）に選挙人名簿に登録することになっています。

一度選挙人名簿に登録されると住所を移動しない限り永久に登録されます。

引っ越しなどで住所を変えた場合には、必ず住民票の移動届出をしてください。

そのままにしておくと、選挙権の行使ができなくなってしまうます。

せっかく「投票権」を得ても、投票しなければ宝のもちぐされ。立候補者をよく知り、自分の代弁者としてふさわしい人を選びましょう。

利尻町選挙管理委員会
利尻町明るい選挙推進協議会

国民年金だより

老後の生活と年金

現在、わが国の六〇歳以上の人口は、一、五八五万人に達し、そのうちの九四%にあたる一、五〇〇万人の方が、国民年金や厚生年金などから公的年金あるいは恩給を受けています。

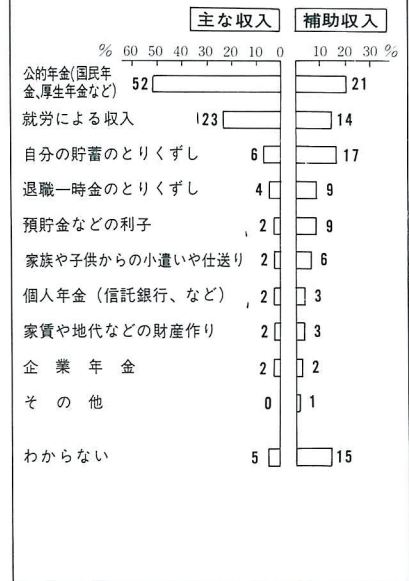
この高齢者の方たちのうち「ひとり暮らし」の方が一二六万人、「高齢者の夫婦だけ」で生活している方が二五九万人で、両者を合せますと三八五万人となり、六〇歳以上の高齢者の四人に一人の方が「ひとり」又は「夫婦だけ」の世帯で暮している状況になっています。

このような状況の中で、老後の生活設計の柱として「年金」は欠かせないものになっています。

○老後の収入は公的年金に期待！
このほど総理府がまとめた「勤労者の老後の生活設計に関する世論調査」の結果をみてみますと：

老後の主な収入としては、国民年金や厚生年金などの公的年金と答えた人が五二%と約半数を占め、次いで「就労による収入」が二二%となっています。それ以外は六%以下と少なく、「公的年金」に大

老後の収入はなにが



きく期待する傾向が強まっています。

次に、補助収入をみると、やはり公的年金が第一位であり、この補助収入と主な収入を合計すると第一位が「公的年金」、第二位「就労による収入」、第三位「自分の貯蓄のとりくずし」の順となっています。

また、日本人の貯蓄は「老後の生活のため」といわれていることについては、「今後、社会保障だけでは暮していけるかどうかかわからないので貯蓄するのはやむを得ない」とする人が三九%と最も多く、次いで、社会保障は最低限の生活を保障するものだから、それ以上の生活費は自分で貯蓄する」が二七%、「個人が老後のため貯蓄しなくてもすむように、多少、個人

の負担はふえても、社会保障を充実させるべきだ」が二五%となっています。

このように、ほとんどの方が老後の生活設計の中に国民年金をはじめとした公的年金、そして、自分の努力による蓄えを考えています。



印鑑登録証明について(おしらせ)



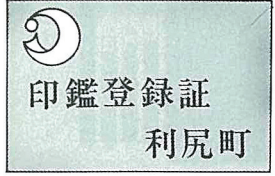
印鑑登録と印鑑登録証明の交付については昭和五十五年六月から全国統一された方法によって行われており、その内容についてはすでに周知されているところですが、まだ事務内容について解らない点もあるように見受けられますので現在の事務内容をお知らせします。

- 1、統一された目的
- (1)事務能率の向上と簡素化
- (2)住民の権利の保護と不正使用防止
- (3)登録資格者の明確化
- 2、窓口事務
 - 従来どおり住民課住民係、仙法志支所で行っております。
- 3、印鑑登録者の資格
 - 本町住民で住民基本台帳、外国人登録原票に記録、登録されている者。
 - 但し、15歳未満の者、禁治産者は登録できません。
- 4、印鑑登録申請
 - (1)本人自ら印鑑を持参して申請しなければなりません。
 - (2)印鑑の登録は、一人一個に限

られ、また登録される印鑑も制限されております。(輪郭のないもの、ゴム印など変形しやすいものは認められません)

5、印鑑登録証の交付
印鑑を登録した時は本人に

この登録証は今後、印鑑証明の交付を受ける場合に必要となりますので大切に保管して下さい。登録証がなければ印鑑登録の証明が受けることができませんので、他人に依頼する場合でも登録証は、印鑑の役割を果たすので、取扱いに充分注意して下さい。



6、印鑑証明書の交付
印鑑証明の交付を受けようとするときは、印鑑登録証を持参して下さい。
◎印鑑は必要ありません。(代理人の場合も同じです)。(住民課住民係)

税務だより

―料理飲食等消費税のお知らせ―
料理飲食等消費税は、バー、スナック、旅館などを利用された方が、料金(旅館の場合は、二〇〇〇円を控除した後の額)の一〇%を税金として店に支払い、店の経営者が一カ月分をとりまとめて翌月、道に納めるものです。

―公給領収証は必ず受け取りましょう―
店の経営者は、この税金を受けとったときは、公給領収証を発行



することになっています。この公給領収証は、税金が確実に道に納められている証拠になりますので必ず受け取りましょう。

―免税点が引き上げられます―
昭和五十八年一月一日から、料理飲食等消費税の免税点が次のように引き上げられます。

- ◎飲食店等の免税点
 - 一人一回の料金が二千五百円(現行二千円)
 - ◎旅館等の免税点
 - 宿泊(二泊二食まで)の料金が一人一泊について五千円(現行四千円)
- なお、詳しくは、宗谷支庁へお尋ねください。
宗谷支庁地方部税務課間税係
(〇一六二)一三二二五二〇
内線二五五・二五六

利尻町自衛隊父兄会結成される

去る十一月三十日、利尻町民センターに於いて利尻町自衛隊父兄会(会員十八名)が結成されました。

これは当町出身隊員と父兄の郷土連絡、留守家族の慰安、隊員を中心とする父兄の相互親睦と互助を図ることを目的に結成されたものです。

◎役員は次のとおりです。

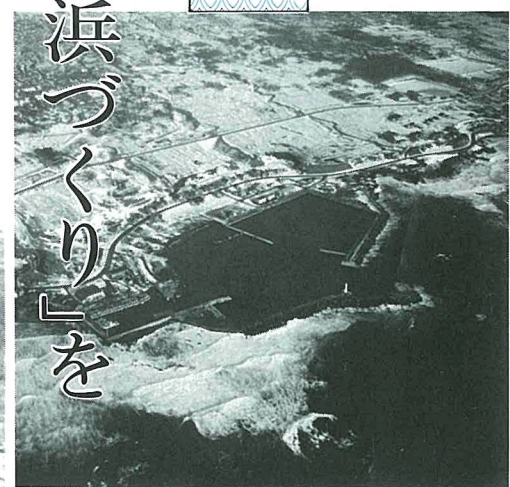
- 会長 工藤 浄真
- 副会長 宮沢 清吉
- 理事 佐々木 忠郎
- 会 計 柏 専三郎
- 監 事 田中 英俊
- 北村 正人



水産だより



「出稼ぎのない浜づくり」を目指し!



着々と進む

栽培漁業振興事業から!



本地域の基幹産業である漁業発展は、関係者の切なる願いであり先ず漁業生産の増大を図って漁家経済の向上安定を期すことが急務であります。

このため、国・道の御指導、御配慮を得て、各種事業制度の導入活用を図りながら、漁業振興策を積極的に進めているところであります。

五十七年度に実施した事業概要は下記のとおりです。

以上のように資源の増大策を重点として、実施致しましたが、その効果は、農作物と違って二〜三年後となり、その間、海域の環境条件こそあれ、事業規模も大型化になっており、又、造成する漁場構想も、調査検討しながら、選定していることから、その効果は今後、大いに期待しているものです。

一、根付漁業

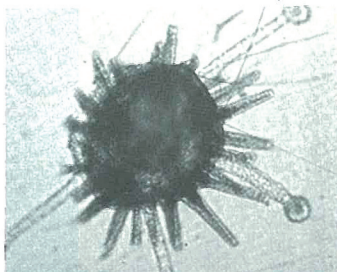
(一) ウニ資源

コンブと並んで根付漁業の重要な位置にあるのがウニであります。沓形漁協は昭和五十四年度に、人工採苗に成功して以来、全道の注目を集めながら年々育成施設の整備と合せ、放流、稚貝の増産を図ってきた結果、五十七年度は約十一万粒(五十五年度は七万九千粒、五十六年度は八万粒放流済)地先海面へ放流できました。仙法志漁協では、昭和五十六年度から海域での天然採苗で三万粒、地先海面へ放流できました。

今後、採苗数の増大を年次、図っていくために、近い将来、両漁協合せて一〇〇万粒の種苗確保のため中間育成できる陸上施設及び放流漁場の造成を計画致しているところであります。五十七年のウニ資源を見ますと、予想を上廻る生産量と稚貝の捷息状況が良好に考えられることから、五十八年以降の資源量は、大いに期待が持たれるところであり、この要因としては、自然環境による稚貝発生は勿



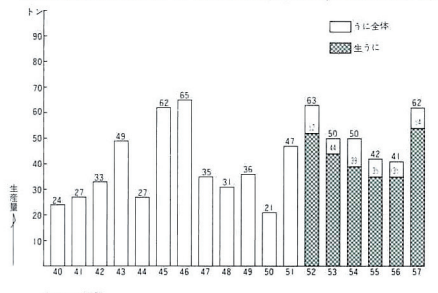
FRRウニ、アワビ礁(昭和56年度投入分) (57. 8 撮影)



人工採苗によるウニの付着幼生(受精後27日経過)。大きさは0.45ミリ (56. 8 撮影)

り海域で自然繁殖し生育できる漁場造成は大規模に実施しており、陸上からは、人工種苗を放流し、各漁協では、資源を考慮した漁獲量を設定しております。あとはいかにして繁殖力の旺盛な「小さな

過去におけるうに生産高調(利尻町内)



であり、資源を増やすためには、最も重要なことです。アワビにも共通することで、前に記したとお

論ありますが、漁業者のウニ資源管理に対する理解が得られたことが、重要視されます。たとえば、(一)稚ウニ(直径四・五センチ以下のウニ)を採捕しない。

(二)禁漁区の設定

(三)外敵生物の徹底駆除(ヒトデなど)

昭和57年度水産振興事業実施一覧表

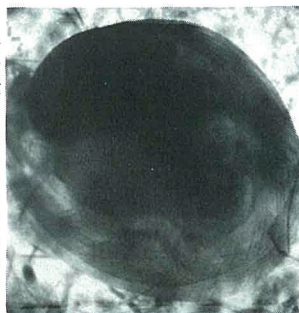
Table with columns for Project Name, Project Content, Project Entity, Project Cost, and Financial Details (National, Local, Outside). It lists various aquaculture projects such as urchin and abalone breeding, infrastructure improvement, and research.

ほかに漁協単独の事業があります。

資源」を守るか、それには、どうすべきは、漁業者一人ひとりの考え方にかかっているわけでありますので今後共、一層の御理解と御協力を切に望むものであります。

(三) アワビ資源

近年道内各地でも減少の一途にあり、特に、宝庫と言われた天売島においても、深刻な問題となっているようです。



人工採苗によるアワビの付着幼生(受精後20日経過)。大きさは〇・五ミリ (57. 9 撮影)

※参考 陸上施設から10万粒放流した場合の生産効果(採捕時は放流後2、3年とし、直径5.0~6.0cmのウニ) 10万粒×95%(漁場放流後の生残率) = 9万5千粒 9万5千粒×80%(採捕率) = 7万6千粒 7万5千粒×0.0139kg(1粒当りの実歩留) × 8千円/kg当 = 845万円

の生産額が予想されるほか、採捕されるまでの間、何回か、繁殖することから、附加効果として、更に期待できます。尚、将来、一〇〇万粒放流が実現できれば、生産効果は一〇万粒の一〇倍(八四五〇万円)が推定されます。

当地区でも過去二十三年間にわたって奥尻島から稚貝を購入し(二単協三万粒、五万粒)放流して参りましたが、五十五年度から施策を転換し、当海域の環境に順応した稚貝づくりを目指し、三カ年計画で種富町地区に、アワビ種苗の中間育成施設(センター)及び海域を利用した放流漁場の整備を図ったところであり、五十六年度から開始された中間育成事業によつて五十七年度は両漁協地先へ二十二万六千粒半数が一単協分放流されました。今後毎年同数量が集中的、大量に造成された漁場へ放流されることや、放流した後

十七年度において当センターで、人工採苗に成功しており(現在二十五万〜三十万粒育成されている)今後、人工採苗が本格化することにより種苗の自給率は、可能であり、生産コスト面で大きく軽減でき、経済効果も一層高まるものと考えられます。尚、将来の観光対策も含め、地元販売用のアワビづくり試験も当センター内で行っており、今後の活躍に期待するところです。



人工採苗によるウニ稚貝中間育成事業(採苗から一年〜一年半で放流できる) (57. 5 撮影)



放流後のアワビ人工種苗状況(57.7.1放流)。上段の大きいアワビは天然貝です。 (57.10.30 撮影)



アワビ稚貝の中間育成事業(十五ミリ程度で購入しアワビセンターで約一年育成する) (57. 4 撮影)

(二) コンブ資源

大宗漁業といわれる天然コンブの増産は、生産額が大きいことから、根付漁業の「要」として振興策に取り組んでおりますが、胞子の着生から生産まで二〇年、要するためその間における海域環境が大きく左右し、随分と悩まされている。又、近年、環境の変化も加って雑藻がはびこり、コンブ漁場が極度に狭くなっていることから漁場造成及び改良事業として、両漁協とも、海域地形に合った工法で自然石による投石、ジャカゴを利用した投石、セラミックブロック板の投入(試験事業)、或るいはチェーン振施設、人力による磯掃除等、雑藻駆除を進めており、更に五十九年以降、大規模なコンブ漁場造成計画がなされている。



(このための調査事業が五十七年〜五十八年の二カ年実施されている)

以上のようにコンブ漁場の拡大を図るため、各工法により事業を進めておりますが、特にチェーン振などによる雑藻駆除の手入れ漁場における事業効果は、手を加えない天然漁場と比較し、はるかに大きい、この実態から人力による雑藻駆除も含め、全組合員一丸となった漁場手入れによる漁場造成こそ、資源増産につながる最も近道であると考えます。どうか関係者皆様の一層の御理解、御協力をお願いいたします。

※参考までですが、別図のグラフに示めすとおり、昭和42年の豊漁年における本町内の天然コンブの生産量は1,191トン(7,940石)でありました。

現在価格に換算すると

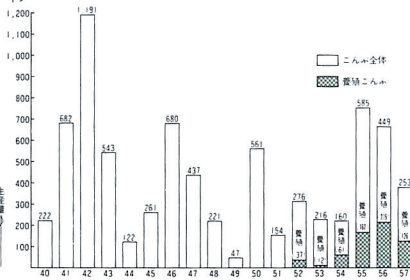
トン当り	1,191 × 1,706,000円 =	20億3,184万円
現在価格	÷ 20億3,184万円	
現在の組合員数	771人	
1人当りの生産額	263万円となり	

以上のとおり、コンブ生産額がいかに大きいか、理解いただけると思います。ですから漁場手入れによって、毎年この半分を確保するだけでも大きな生産となる訳です。

次に、養殖コンブであります。当町「栽培漁業」の草分けとも言える存在であります。

昭和五十五年度の生産量は一六七トン(一、一三石)生産額にし

過去におけるこんぶ生産高調(利尻町内)



チェーン振施設による雑藻駆除状況 (FRP丸太を利用)

て二億八、二四万円(一人当り平均二五六万円)であったが、突如として出現したヒドロ虫のため、着業者及び関係機関を随分悩ました。結果的には生産制限をはじめ生育管理、乾燥施設の導入など新たな方策が打たれたが、生産量及び生産額とも大きく下廻るなどコンブ養殖事業には大打撃の昨今



人力による雑藻駆除状況

であります。しかし、養成促成コンブの先進地である道南地帯でもコケムシ、ヒドロ虫及び価格対策で十数年、苦勞の連続であったがこの難題を乗り越え、今日に至っているわけです。当地域としても、ヒドロ虫対策に一応解決が見い出された以上、これからの勝負どころと思えます。

早い機会に生産の増大を図り、事業の安定化を期すための方策に向って、関係者一体となり努力を致さなければならぬと思えます。

二、漁船漁業

二百カイリ定着時代のなかで、漁場のせま苦しさ、資源の減少、漁業経営費(漁具、資材、燃油など)の高騰など、漁業環境は極めて厳しいものがあります。このため、関係者一体となって打開策及び振興策に懸命なる努力を致しておりますが、諸事情で、なかなか

容易ではないのが実態であります。当地域の漁船漁業振興策として進めていることは、

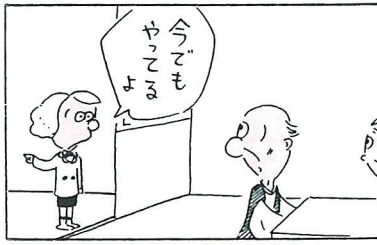
- 一、人工漁礁漁場の拡大造成
- 一、漁業許可の受認(エビ、秋サケ採捕)
- 一、日本海マス延縄漁業の流し網漁業への転換

- 一、韓国漁船を含めた底引網対策
- 一、漁業生産基地である港湾、漁港の整備促進
- 一、漁場、漁法の開発、改良
- 一、海難防止と安全操業

などであります。しかし、きびしい現状下とはいえ、やはり、漁業者の生産に対する意欲が大事であります。漁場開発を考えても、自ら発見し、開発しようとする心構えであります。このことは、どの産業においても共通することでありますが、。又、経営においても、いかにして支出を最少限に止め、純収益を高めるか、見直してみるのが、重要であると思えます。根付漁業にも共通することは、今後共、漁業振興事業に対し積極的に取り組んで参りますが、漁業者皆様にも、一層創意工夫をしながら漁家経済の安定向上に努力を続けていただくように望みますのであります。

さわやか君

西村 宗



氏名 保護者続柄 住所
中村 聡志 和也 長男 緑町
工藤 伸平 久史 二男 泉町
佐々木恵里 日出雄 長女 日出町
町村 俊也 孝俊 長男(仙)

仙法志字久連 門田俊一様から
祖母のぶ様の香典返しを廃して



お誕生おめでとう
ございます



戸籍の
うごき

自11月1日
至11月30日

おくやみ
申し上げます

氏名 年齢 住所
門田 のぶ 八八歳 久連

ご厚意に感謝します

このたび次の方から愛情銀行に
金一封の預託がありましたので、
紙上を借りてお礼申し上げます。

沓形字蘭泊 角谷重信様から

父慶吉様の香典返しを廃して
(利尻町社会福祉協議会)

**昭和57年第5回
巡回職業相談のお知らせ**

1月17日 13時から17時まで
1月18日 9時から12時まで

場 所 利尻町保健福祉館
<沓形>

役場等の年末・年始について

次のとおり、年末・年始休暇になります。急を要することなどは、当直者がおりますので、ご遠慮なくおいで下さい。

訂正とおわび

※ 十二月号の広報紙

○二頁の「受賞おめでとう北海道社会貢献賞」で「三輪 博之」は「博久」の誤りですので訂正願います。

○十五頁の「昭和五十八年成人式についての該当者名簿」で「文高 裕樹」は「大高 裕樹」の誤りですので訂正願います。

○十五頁の「沓形小・子ども貯金」の記事で「貯蓄優秀で表彰させる」は「される」の誤りでした。訂正して深くおわび致します。

区 分	事務納め	事務始め	摘 要
役 場	昭和57年 12月30日	昭和58年 1月6日	
仙法志支所	"	"	
教育委員会	"	"	公 民 館 12月30日～1月5日 研修センター及び体育館 町民屋内 運動場 12月29日～1月3日 町民センター図書館 12月26日～1月7日
碎石事業所	"	"	
国民宿舎	"	"	休み中、浴場だけ12月31日、1月 2日、4日、5日に限り午後1時 から5時まで営業します。
国 保 病 院	(診療納め) 12月30日	(診療始め) 1月6日	

発行 利尻町役場

編集 住民課広報交通安全係 ☎四一三四五番

印刷 旭川樹総北海